

研 究 分 野	資源管理	部 名	磯根資源部
研 究 課 題 名	地先漁場管理・資源活用事業		
予 算 区 分	県単		
実施年度・研究期間	H. 1 3 ～ H. 1 5		
担 当	（主）仲村俊毅 （副）桐原慎二		
協 力 ・ 分 担 関 係			

〈目的〉

本県沿岸海域における地先漁場の適切な管理と未・低利用資源の活用方途を調査検討して漁場管理、資源活用指針を作成するとともに、各漁業協同組合に対しては指針等に基づく具体的な計画づくりについて、指導、普及を行い、本県水産業の振興発展に資する。

〈試験研究方法〉

平成 11、12 年度に実施された「藻場・水産資源マップ作成事業」、平成 13、14 年度の本事業における藻場・水産資源マップ作成調査や他の事業で実施された各種調査資料を基に、漁場管理のあり方、未・低利用資源の活用方途を考察する。

〈結果の概要・要約〉

調査は漁業権漁場における重要資源に係る詳細なものであるため、漁業権管理者（漁業協同組合）との事前協議により、公表を避けている。

〈主要成果の具体的データ〉

〈今後の問題点〉

漁場管理や資源利用の問題は、本事業終了によって終わるものではなく、今後も新たな知見を積み重ねつつ継続する必要がある。

〈次年度の具体的計画〉

平成 15 年度で事業終了

〈結果の発表・活用状況等〉

各漁業権漁場毎の調査結果については、漁業権管理者に配布し、それぞれ漁場利用計画や各種資源の禁漁区設定等に利用されている。

漁場管理に係る考え方等は、県主催の会議での講演、報告や増養殖研究所だより（旧：水産増殖センターだより）などにより、啓蒙に努めている。

磯根資源に関する需要や依存の強い地域からの要請にこたえ、講演会、勉強会、打ち合わせ等を行った。

「陸奥湾の海草藻場造成の手引き」（平成 15 年 7 月）を発行した。